

学校改善につながる確かな学校評価をめざして

札幌市立発寒南小学校

I はじめに

学校改善に結び付いた学校評価



1 本校における学校評価のねらい

本校においては、学校教育目標の具現化に向けて、年間を二期四節に設定し、計画～実践～評価～改善～計画という評価サイクルのもと、学校改善につながる学校評価を教職員サイドで取り組んできた。しかし、近年、教育活動や学校運営に対する保護者、地域住民の関心の高まりから、自らの教育活動や学校運営について自律的・組織的な改善を行っていただくだけではなく、取組や経緯について、保護者や地域住民に対し説明責任を果たすことが求められている。そこで、教育活動の成果や課題を学校（教師、児童）、保護者、学校関係者、地域の声から活かすことが重要であるとともに、昨年度までの評価システムをスリム化することで改善していくことをねらいとして、今年度の学校評価を行っていくこととした。

2 昨年度の学校評価を基にした改善点

本校では、昨年度末の学校評価により、教育活動についての問題点が出され、それらの改善策を今年度の教育活動に盛り込んだ。また、昨年度に成果のあったものをさらに工夫しながら、より充実させることを目指して継続することを確認した。

- ①学力テスト、新体力テストの導入～児童の学方面、体力面を客観的に把握
- ②としよっこの導入～図書館の利用を効率化、児童への読書意欲の高揚
- ③健康教育の推進～性に関する指導、食に関する指導の充実
- ④基本的な生活習慣や態度の育成～あいさつの継続指導 等

II 本校の学校評価システム

学校評価システム

1 自己評価と評価委員会

学校評価委員会は、(本校では企画検討委員会) 教頭、教務主任、各部三部長で構成し、学校の教育活動の向上につながるために、自己評価を行った。

- ・学校教育目標を具現化した教育活動に関連した評価項目の作成
- ・児童の実態調査と分析、児童・保護者アンケートの実施と分析
- ・中間学校評価、年度末学校評価の実施と自己評価書の作成

2 学校関係者評価委員会

本校では、学校関係者評価委員会は今のところ設置していない。学校行事、参観日に学校評議員の方に来校していただき、活動の状況を見て、ご意見や感想をうかがっている。その意見を参考に、保護者や地域の方々に信頼される学校づくりに努めている。

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

期	月	自 己 評 価			学校関係者評価
		学校(教師)	児童	保護者・地域	
前	4	学校経営方針 学校教育説明会・PTA 総会 入学式反省		学習参観・懇談	学校経営説明
	5		運動会 がんばりカード記入	学習参観・懇談	
期	6	運動会反省 学力テスト 企画検討委員会(重点目標設定) 指導目標のふりかえり		学習参観・懇談 家庭訪問	※参観、行事等 で子供たちの 姿、学校の様子 を見てもらい、感 想を聞く。 評価 中間説明
	7	企画検討委員会(評価項目検討)		家庭訪問	
	8	企画検討委員会(前期学校評価内容検討)			
	9	新体力テスト 学力テスト分析結果 指導目標のふりかえり		学習参観・懇談	
後	10	新体力テスト集計結果 中間学校評価 (子供の育ち)	学習発表会 がんばりカード記入		
	11	学習発表会反省 企画検討委員会(重点目標、評価項目改善 案検討) 学校教育説明会 (学力テスト、新体力テストの全校的傾向等)		土曜参観日	
	12	企画検討委員会(後期学校評価内容検討) 指導目標のふりかえり		教育相談 アンケート調査 (児童、保護者)	
期	1	指導目標のふりかえり 企画検討委員会(評価のまとめ、新年度方 針検討)		学習参観・懇談	
	2	年度末学校評価 (子供の育ち、学校運営全般) 新年度計画全体会			
	3	卒業式反省 自己評価書の提出 自己評価の公開(学校便り、ホームページ)			年間評価 次年度計画説明 学校関係者評価提出

IV 学校評価の方法

評価項目の重点化を図る

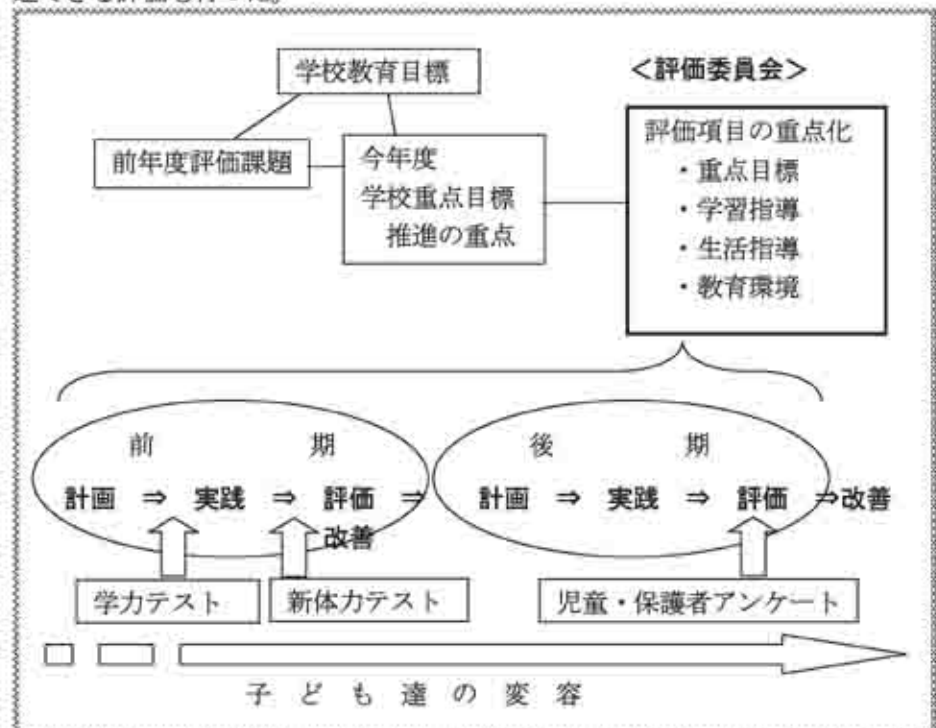
1 自己評価

(1) 項目の設定

本校における前年度までの学校評価は、学校運営全般を中心とし、学級・学年経営の評価も含め、中間、年度末の2回の評価を行っていた。

学校評価は、本来学校経営の改善につなげるため、学校重点にせまる項目の評価が重要である。また、前期での評価が、後期の計画、実践の改善につながるものでなければならない。さらに、学校内（教職員）の評価だけでなく、児童、保護者、地域、学校関係者等の願い、要望を把握した上での評価が大変重要である。このようなことから、本校は今年度から教育活動全般を一律に見た評価ではなく、学校重点目標に迫る（子どもの育ちを中心に）評価システムを設定すると共に、評価項目を重点化して評価を行うこととした。

また、重点化した評価は、自己評価書と同様の形式で教職員（前期、後期の2回）が評価をし、重点目標にかかわらないことに関して、各部ごとに自由記述できる評価も行った。



- ① 本校の学校教育目標を基に、前年度学校評価の課題から導き出される学校重点目標、推進の重点を再度確認しながら、子ども達のよりよい変容を導く評価項目を評価委員会（本校では企画検討委員会）が中心となり、設定した。
- ② 前期、後期それぞれの評価だけで終わることなく、前期で計画し実践した教育活動の適切さを評価することにより、その改善として後期の計画をし、実践につなげる。また、後期での評価により、次年度への課題を明確にしていく、評価のための評価にならぬように行った。
- ③ 本校における初めての取組である、学力テスト、新体力テストの客観的な資料も評価の資料とした。
- ④ 児童・保護者アンケートについても本校では初めての取組であり、今年度は従来どおりの懇談時での保護者の意見の集約と年に1度（12月）ではあるが、児童、保護者の評価、意見を評価の資料とした。

自己評価と保護者アンケート

(2) 児童・保護者アンケートの実施

児童アンケート、保護者アンケートともに今年度は1回(12月)実施をした。児童アンケートは記名をしてもらい、保護者アンケートは無記名で学年のみを記述してもらい、意見を書く欄を設けた。

評価項目は、自己評価と比較しやすいようにリンクする形をとった。

<自己評価>

重	重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て適切である。
点	重点目標に向けた教職員の共通理解が図られ、活動して活動している。
目	重点目標の具体化に向けた教育課程が編成されている。
標	児童一人一人が、楽しく、元気に学校生活を送っている。
学	一人一人の考え方や感じ方を大切にして、互いに認め合える学習の充実に向けている。
習	基礎的・基本的な内容を確実に定着させる指導がなされている。
指	問題解決的な学習や興味・関心を生かした児童の主体的な学習の充実を図っている。
導	学ぶ意欲を高め、確かな学力を育てる指導法の改善がなされている。(IT指導等)
生	全教職員が複数の目で子供を見つめ、適切な指導に努めている。
活	基本的な生活習慣や態度の育成を図っている。(あいさつの指導)
指	思いやりと感謝の気持ちを育てる学年・学校経営や交流活動の充実を図っている。
導	いじめ、不登校に対する適切な対応をしている。
教	教育効果を高めるため、教材書やコンピュータ等の活用、整備に努めている。
育	学校の情報が、地域や各家庭に伝わり、教育活動への理解が得られるよう努めている。
環	授業や行事等で教育ボランティア(地域、保護者)を活用し、指導に役立てるよう努めている。

<保護者アンケート>

→	楽しく、元気に学校に通っていますか。
→	学習に意欲的に取り組むようになってきましたか。
→	「読み、書き、計算」(基礎学力)が身につけてきていますか。
→	学習した内容を理解していると思いますか。
→	友達と仲良く遊んでいますか。
→	あいさつがきちんとできるようになりましたか。
→	相手のことを考えるやさしさが育っていますか。
→	お便り等で、教育活動や必要な情報がきちんと伝わっていますか。
→	学校にかかわる保護者、地域のボランティア(読み聞かせ、スクールガード等)の方々との連携により、学校生活がよりよくなってきていますか。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成、改善策の検討

自己評価、児童・保護者アンケートについては、評価委員会が集計と分析を行い今年度は年度末の学校評価全体会において提示し、話し合いをした。その話し合いを基に改善策を評価委員会を中心に練ると共に、自己評価書を作成した。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

学校評議員(3名)、校長、教頭、教務主任で構成し、参観や行事の後に感想を聞かせていただき、年度末は、自己評価書をもとに評価を行っていただく。

(2) 学校関係者評価書の作成

自己評価と同じ形式の評価書で年度末に評価していただく。

V 評価結果の公表

公表方法の多様化

1 公表の方法

学校だより、学校ホームページで公表する。

VI 成果と課題

本校においては、評価項目を重点化して学校評価を行うことや児童・保護者アンケートの取り組みなど、初めての試みであり、教職員にはとまどいがあった。しかし、今年度は、これからの評価システムを確立していく上で価値のあるものだった。今後、様々な面で課題がある。また、教職員の従来行ってきた評価からの意識を変えていくことが、まず重要と考える。その上で、子ども達を中心に据えたより充実した評価を行っていきたい。

平成20年 自己評価書

平成20年〇月〇日
札幌市立発寒南小学校

1、本年度の重点目標

あたたかさとしさに満ちあふれた学校の創造 ～ぼく わたしが主役～
くめざす子供の姿>

自分の考えを持ち、他とかかわる子供(コミュニケーション能力)

2、本年度の経営方針

- ・ 確かな学力の定着 ・ 豊かな心の育成
- ・ 指導力の向上 ・ 信頼される学校

3、自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
重点 目 標	重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て適切である。		
	重点目標に向けた教職員の共通理解が図られ、協働して活動している。		
	重点目標の具体化に向けた教育課程が編成されている。		
	児童一人一人が、楽しく、元気に学校生活を送っている。		
学 習 指 導	一人一人の考え方や感じ方を大切にして、互いに認め合える学習の充実に努めている。		
	基礎的・基本的な内容を確実に定着させる指導がなされている。		
	問題解決的な学習や興味・関心を生かした児童の主体的な学習の充実に努めている。		
	学ぶ意欲を高め、確かな学力を図る指導法の改善がなされている。(TT指導等)		
生 活 指 導	全教職員が複数の目で子供を見つめ、適切な指導に努めている。		
	基本的な生活習慣や態度の育成を図っている。(あいさつの指導)		
	思いやりと感謝の気持ちを育てる学年・学級経営や交流活動の充実に努めている。		
	いじめ、不登校に対する適切な対応をしている。		
教 育 環 境	教育効果を高めるため、教材園やコンピュータ室等の活用、整備に努めている。		
	学校の情報が、地域や各家庭に伝わり、教育活動への理解が得られるよう努めている。		
	授業や行事等で教育ボランティア(地域、保護者)を活用し、指導に役立てるよう努めている。		

※学年をお書きください

- A その通り
 B だいたいその通り
 C あまりそう思わない
 D 思わない

年

項 目		A	B	C	D
お子さんを見て当てはまる項目に○をつけてください ⇒					
1	楽しく、元気に学校に通っていますか。				
2	学習に意欲的に取り組むようになってきましたか。				
3	「読み、書き、計算」(基礎学力)が身につけてきていますか。				
4	学習した内容を理解していると思いますか。				
5	友達と仲良く遊んでいますか。				
6	あいさつがきちんとできるようになりましたか。				
7	相手のことを考えるやさしさが育っていますか。				
8	お便り等で、教育活動や必要な情報がきちんと伝わっていますか。				
9	学校にかかわる保護者、地域のボランティア(読み聞かせ、スクールガード等)の方々との連携により、学校生活がよりよくなってきていますか。				

子どもをよりよく育てるために、学校と保護者とが協力して教育を進める観点から、希望や要望がありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました

※12月22日(月)までに、古封筒に入れ担任まで提出ください。